

第 5 章

基本戰略

1

地域資源の魅力向上戦略

戦略の展開に向けた現状と課題

資源の一つひとつの魅力を高めて、観光客に巡ってもらうことが必要

- 3大観光地に来る観光客は、目的地のみに立ち寄り、市内の他のスポットを通過していく傾向があります。市街地に近い小峰城跡に来る人が、市街地から離れた南湖公園、白河関跡に立ち寄ることが少ない状況です。
- 南湖公園・白河関跡に来訪する人が小峰城跡を来訪する割合と、小峰城跡に来訪する人が南湖公園・白河関跡を来訪する割合に差があり、小峰城跡だけを訪れる人が多いことがうかがえます。また、白河ラーメンや南湖公園のカフェを目的に来訪する人が多くなっています。
- 桜の季節の花見旅行や、市内の各種イベント時には多くの観光客が訪れていますが、それ以外の時期や平日の観光客が極端に少なくなる傾向があります。
- 名所や旧跡等の観光は、観光客を惹きつける有力なコンテンツとなりうる一方で、リピート訪問を見込みづらいため、自然や文化財以外の観光コンテンツの開発も必要です。

消費活動ができる場・機会を増やすことが必要

- 白河ラーメンやそば、南湖だんごなど、代表する飲食物や特産品があるものの、「どこに行けばそれらが買うことができるか」が浸透しておらず、結果、著名な飲食以外で観光客が消費行動をする場所が限られている状況です。白河市を代表するお土産の確立・開発及び情報発信を充実させ、観光客に「モノを買ったり、食べたりする」ことを目的化してもらうことが必要です。
- また、市内の特産品加工所と連携しながら和菓子、米・米粉、日本酒、ラーメンなどの特産品や、より魅力的な白河ブランド品の開発及び浸透も重要となります。

(1) 歴史的、文化的資源の活用

本市のシンボルで歴史的資源である、国史跡「小峰城跡」、国史跡及び名勝「南湖公園」、国史跡「白河関跡」は保存管理計画及び整備基本計画などに基づき、魅力向上を図るとともに、史跡でイベントを開催するなど、広く情報を発信することで、さらなる魅力の向上に努めます。

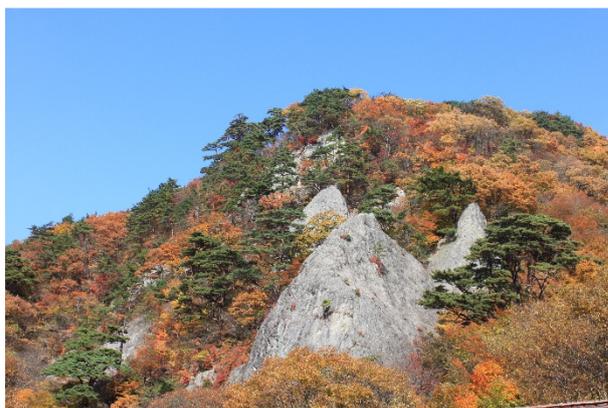
また、市内各地に点在している史跡や歴史的な建物等の保護・保存に努めながら、さらなる魅力向上のため、観光資源としてのPRを推進し、本市ならではの地域資源を活用することにより観光地として一層の魅力向上に努めます。

基本事業	概要	実施主体
<p>①小峰城跡の魅力向上</p> <p>(※重点戦略1)</p>	<p>史跡小峰城跡の三重櫓や石垣など城跡全体の情報発信に努め、小峰城跡の魅力向上を図ります。</p> <p>また、小峰城の歴史や東日本大震災における被災の状況と石垣修復の様子を学ぶことができるパネルや模型、江戸時代の小峰城跡をCGで復元し3面スクリーンで映像化したVRシアター等、小峰城の魅力を再発見・再認識できる「小峰城歴史館」や、お休み処「二ノ丸茶屋」などの施設と連携を図りながら、観光地としての魅力向上に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会
<p>②南湖公園の魅力向上</p> <p>(※重点戦略1)</p>	<p>南湖公園利用者に快適な空間を提供するため、利用環境の整備や美化活動等をとおして環境保全、マナー意識の向上を図るとともに、南湖公園の四季折々の美しい景観の発信による観光誘客に努めます。また、翠楽苑での呈茶体験や公園内の茶店、カフェ等と連携したイベントを通じて、観光地としての魅力向上に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会 ・市民 ・事業者
<p>③歴史的・文化的な資源の魅力向上</p> <p>(※重点戦略1)</p>	<p>国史跡「白河関跡」や国史跡「白川城跡」をはじめとする歴史的・文化的資源の保護・保存に努めるとともに、日本遺産登録に向けて取り組んでいる「奥の細道風景地」や独特の姿が新たな観光資源として注目される「狛犬」など、歴史的・文化的資源の活用による観光振興を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会

(2) 自然資源等の活用

関山や権太倉山、天狗山をはじめとする豊かな自然環境について、環境美化に努めながら、市民や観光客が自然に親しめる憩いの空間として魅力の発信に努めます。

基本事業	概要	実施主体
①自然資源の活用	ビャッコイ、二本カヤなどの県指定天然記念物や関山、権太倉山などの、本市の美しい自然資源に市民や観光客が親しみ、楽しめるよう、関係機関と連携しながら、情報発信に努め、観光資源としての活用を図ります。	・行政 ・市民 ・観光物産協会
②観光農業の推進	美しい自然景観、農林産物などの地域資源を活用し、首都圏住民などを対象にした体験型農業など農業と観光の連携を図り、農業の魅力の発信による観光振興に努めます。	・行政 ・観光物産協会 ・農業関係者



【聖ヶ岩】



【ビャッコイ（県指定天然記念物・国内希少野生動植物種）】

(3) まちなか周遊観光の推進

まちなかには、史跡や歴史的風致形成建造物、伝統産業に根ざした建物、歴史にゆかりのある地などが多く点在することから、ストーリー性を持たせ、歩いて楽しめる「まちなか周遊観光」を推進します。

基本事業	概要	実施主体
①まちなかの魅力向上 (※重点戦略1)	祭りやイベント開催による、まちの賑わい創出や、「白河市歴史的風致維持向上計画」の国認定を受け整備した歴史的・文化的資源をさらにブラッシュアップし、まちなか回遊拠点の充実を図るとともに、本市固有の歴史的・文化的資源を維持し次世代に継承することで、将来に渡り継続的にまちなかの魅力を向上させていきます。	・行政 ・事業者 ・関係者団体
②まちなかの回遊性の向上	本市のまちなかには、寺院や歴史上の人物ゆかりの地が数多く点在しており、その資源を活かした「ぐるり白河文化遺産巡りツアー」などが行われています。さらに、「まち歩きマップ」などを通じて、ストーリー性のある散策コースの発信に努めるとともに、市循環バス「こみねっ」とや公共交通機関を活用した回遊を促進します。	・行政 ・観光物産協会 ・事業者
③食を活用した回遊性の向上	白河ラーメンやそばを提供する店舗には県内外から多くの観光客が訪れていますが、観光地の回遊に繋がっていないため、飲食店に観光パンフレットやポスター等を配置して、連携を図り、回遊性の向上に努めます。	・行政 ・観光物産協会



【白河ラーメン】

2 誘客宣伝と受入体制戦略

戦略の展開に向けた現状と課題

観光客の滞在時間の延長が必要

- 市内の観光の移動手段は自動車が中心です。また、JR新白河駅・白河駅前からの二次交通が十分とはいえない状況です。
- まちなかに飲食店は多数あるものの、観光客が電車やバスの待ち時間に気軽に利用できるカフェ等の飲食店は限られており、JR駅周辺での滞在時間の確保も重要となります。
- 観光バス等による団体での来訪も一定数あるものの、滞在時間が限られてしまうため、十分に堪能できなかつたり、消費活動につながらないことが多くなっています。
- 市内でも観光客向けに特化した事業を主として展開している事業者は限られており、「稼げる」観光振興に参入する事業者を増やしていくことが重要となります。

既存のイベントや既存の資源を活かした通年の観光客の底上げが必要

- 本市では、白河だるま市や白河提灯まつりといった伝統行事については、多くの観光客が訪れています。一方で来訪者数はイベントの有無に偏っているほか、テーマに沿った中・小規模のイベントが多くありますが、その認知度は低い傾向にあります。年間を通して来訪してもらえよう、イベントを契機とした本市のPRが必要となります。
- イベントのほかに農業や伝統産業など体験型の観光ができるコンテンツがあります。これらを生かしたプログラムを充実させることによって、来訪者の裾野を広げていくことが必要となります。

効果的な情報発信・PRの強化が必要

- 首都圏や東北自動車道沿線からのアクセス性が高い一方で、観光地として素通りされてしまう傾向があり、「白河に来てもらう、立ち寄ってもらう」ための情報発信やPRの強化が必要となります。
- 「東北の玄関口」や、高校野球で聞かれる「白河の関越え」というフレーズでも分かるように、白河市に対して「入口」や「境界」といったイメージが浸透しています。本市により長時間滞在してもらうために、東北地方の市町村と連携しながら、“玄関”を通り過ぎるだけでなく、留まってもらう仕掛けづくりが必要です。
- 観光物産協会が観光案内所の機能を持っていますが、観光客や市民に対し観光資源を十分に見える化できていない状況です。また、SNS等のインターネットを十分に活用できていないため、市内外へのPRの機会を逃している状況です。

市民一人ひとりが観光地としての自覚を持つことが必要

- 来訪者の満足度の向上と市民の白河愛の醸成のため、市民と観光客の交流機会をつくとともに、観光人材の育成を図ることが重要です。また、訪問客に対する受入体制が整えられ、受入側である市民や事業者同士が連携し、おもてなしを実践していくことも重要となります。
- 市民のまちへのアイデンティティや愛着心がみられるものの、白河市で観光を進めていくことに対して当事者意識を十分に醸成できていない状況です。また、文化財の中には、市民の認知が十分でないものもあります。

(1) 観光情報発信と誘客活動の推進

本市の観光地としてのブランドイメージの向上を図るとともに、訪問先として本市を選択していただくため、他の地域との差別化を図り、本市ならではの旬な魅力と情報を様々な媒体を通じて発信します。また、様々な媒体や旅行会社などに対するプロモーション活動を継続的に実施し、誘致促進を図ります。

さらに、本市はロケ地として多様な資源を有していることから、フィルムコミッション活動の推進により、映画やテレビ番組などの撮影を積極的に誘致することで、本市の知名度やイメージ向上に努めます。

基本事業	概要	実施主体
① SNS 等を活用した情報発信	ホームページや SNS (ツイッター、インスタグラム等)をはじめ、観光パンフレット、テレビ、ラジオなど、様々な宣伝媒体を活用し、効果的な情報発信に努めます。	・行政 ・観光物産協会
② 公認キャラクターを活用した情報発信	本市公認キャラクターである「ダルライザー」、「しらかわん」、「小峰シロ」はキャラごとに SNS 等を通し情報の発信を行っており、今後さらに様々な宣伝媒体で活用し、インパクトのある効果的な観光情報の発信に努めます。	・行政 ・事業者
③ フィルムコミッションの推進	フィルムコミッション事業の展開により、映画やテレビ番組等の撮影を積極的に誘致し、その放映を通じた本市の知名度向上と魅力の発信に努め、本市のロケ地を観光資源として活用し、観光誘客を図ります。	・行政 ・事業者
④ シティプロモーションの推進	「白河市シティプロモーション基本方針」に基づき、行政と地域住民が共同で地域の魅力を探し出し、地域イメージを確立させて、情報発信することで認知度の向上を促進します。	・行政 ・市民

白河市公認キャラクター



【ダルライザー】



【しらかわん】



【小峰シロ】

(2) 観光客の受入

観光客が本市を訪れた際に、よりスムーズでストレスを感じることがないよう環境を整備することにより、誘客を図ります。

基本事業	概要	実施主体
①受入体制の整備	研修会等を通じた受入機運の醸成や接客能力の向上を図るとともに、施設等の無料 Wi-Fi 環境や物産機能の充実を図ります。また、観光案内看板については、「白河市・西郷村サイン統一計画書」・「白河市屋外広告物等に関する条例」に基づき、掲示するとともに、周辺景観に配慮するものとします。さらに、内容等を精査し、分かりやすく確実な誘導ができるよう充実を図ります。	・行政 ・観光物産協会 ・事業者
②情報の発信	観光情報提供の場である案内所において、観光客への案内体制の向上・充実を図ります。また、外国人が容易に散策できるよう、見やすさ・利用しやすさを重視した観光情報の提供を図ります。	・行政 ・観光物産協会



【公益財団法人白河観光物産協会】

(3) 賑わいの創出

賑わいのある観光地を創出するため、市民や観光客が参加し、共に楽しめるイベントやまつりを四季折々に開催し、その内容の充実と情報発信に努めます。

基本事業	概要	実施主体
①イベントの充実	<p>多くの集客が見込める「白河さくらまつり」、「白河関まつり」、「白河提灯まつり」、「白河だるま市」、「しらかわキャラ市」などの内容の充実を図っていきます。また、「ふるさと川まつり in たいしん」、「ふるさと表郷まつり」、「サンライズひがしフェスティバル」など地域主体の催しの支援など、市民が観光客とともに楽しめるイベントの開催を通して、本市の歴史や文化の発信と賑わいの創出を図ります。</p> <p>また、民間が主催する大型イベントの誘致により積極的な発信を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会 ・商工関係者 ・市民 ・事業者
②伝統芸能の充実	<p>関辺のさんじもさ踊や奥州白河歌念仏踊など、本市に古くから伝わる伝統行事等の保存・継承を支援するとともに、広く発信し、文化意識の高揚と観光振興に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・市民
③体験プログラムの推進	<p>地域資源を生かした屋外体験、また、特産加工、郷土料理づくりや地域文化活動などの室内体験プログラムを整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会 ・市民



【しらかわキャラ市】



【白河提灯まつり】



【だるま市】

(4) 観光ビジネスとの連携

観光振興をまちの活性化と産業振興につなげるためには、本市への観光誘客が観光ビジネスとして成立することが不可欠です。魅力ある観光資源の観光ビジネスへの接続を推進し、本市における宿泊客の増加と観光消費の拡大につながる施策の展開を図ります。

基本事業	概要	実施主体
①公共交通と連携した観光振興	市民の生活交通である鉄道やバス等の公共交通を活性化するため、公共交通と連携した観光ルートの設定や観光商品の開発に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会 ・交通事業者
②販路の開拓	旅行事業者に対する説明会・商談会への参加、ダイレクトメール等による販路の開拓に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会
③スポーツツーリズムの推進	本市の観光資源の特色のひとつでもあるゴルフやサイクリングを主な対象として、スポーツツーリズムの観点から他の観光資源と連携し、市内観光への誘導を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・市民 ・事業者
④産業観光の推進	市内の企業と連携し、協力事業者を発掘するとともに、企業が有する技術や施設、生産現場などを見学したり体験したりできるような産業観光の商品化に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・農商工関係者
⑤民泊等の推進	本市は、宿泊施設が少ないため、日帰り旅行が多く、地域経済の活性化に繋がりにくいことが課題であるため、空き家等を活用した民泊事業や美しい里山や田園風景を望みながら過ごす農泊などを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・事業者 ・農商工関係者



【サイクルツーリズム事業】

（5）観光に係る人材育成と市民意識の高揚

観光従事者の研修や技術講習などを実施し、インバウンドにも対応した観光客受入に携わる人材の育成に努めます。また、本市の歴史の主要な部分を平易な表現でまとめた『白河歴史の手引き「れきしら」』などを通じて本市の歴史や文化を学び、再認識することで、市民一人ひとりが観光客を温かく迎え入れるおもてなしの意識の高揚に努めます。

基本事業	概要	実施主体
①観光ガイドの育成 (※重点戦略2)	『白河歴史の手引き「れきしら」』を通じて本市の歴史と伝統を再発見し、地域への愛着を図るとともに、観光ガイドへ導く人材確保及び育成を進めます。また、外国語ガイドの体制整備について、今後の誘客戦略を踏まえながら検討します。	・行政 ・市民 ・観光物産協会 ・ツーリズムガイド白河
②学びを通じた人材の育成 (※重点戦略2)	地域の歴史・自然・文化に関する講座を通じて、子どもたちが地域のことについて学んだり体験したりできる機会を増やし、観光まちづくりに参画する人材の育成に努めます。	・行政 ・市民
③観光に関する市民向け講座の開催 (※重点戦略2)	地域の歴史・自然・文化など、観光に関する市民向け講座を開催し、市民の観光への関心と、地域に対する知識や誇りを高めます。	・行政 ・市民



【ツーリズムガイド白河】

3

地域協業戦略

戦略の展開に向けた現状と課題

市民・事業者・団体同士の連携の強化が必要

- 本市の現状では、市、観光物産協会、商工会をはじめとする関係機関、市民団体、NPO 団体などがそれぞれの事業に対して関わり、連携をとっている状況で、事業者及び観光関係者同士での横のつながりが少ない状況です。今後は、関係する団体・機関がさらに綿密なコミュニケーション・連携を深め、互いのもつ資源やリソースを提供しあい、同じ方向を向いてそれぞれの役割を果たしていくことが必要です。
- 近年は、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の実施により、これまで実現に課題のあった市民・民間・行政が一体となった「オール白河市」での取り組みの基礎が構築されつつあります。

近隣市町村との連携強化が必要

- 白河市に来る観光客のほとんどが、市外の観光地と組み合わせで来訪しています。また、宿泊を伴う来訪者の多くが市外に宿泊しています。
- 本市の近隣には那須地方や会津地方など、全国的にも知名度が高く、観光客が多い地域があります。これまで、ふくしま県南観光推進協議会や那須白河会津観光推進協議会、那須・白河・西郷サイクルツーリズム協議会による広域連携を進めており、引き続き近隣市町村等と連携した観光プロモーションの展開が必要となります。

(1) 市民・団体・事業者との協働

本市における観光振興に対する市民・事業者の意識は、地域による格差が大きく、全市的な観光振興への関心は十分とはいえない状況です。幅広い市民・団体・事業者の参加を促す取り組みを推進し、市民・団体・事業者との協働による観光振興の充実を図ります。

基本事業	概要	実施主体
①観光セミナーや研修、講習の開催 (※重点戦略2)	専門分野の講師を招き、観光に関するセミナーや、受け入れに必要な接遇マナー等に関する研修を開催します。	・行政 ・事業者 ・商工関係者
②白河観光物産協会の機能強化 (※重点戦略3)	本市における観光振興の中心的な役割を担う白河観光物産協会が旅行商品の開発や取り扱いなどの業務を行えるよう、組織の機能を強化します。	・行政 ・観光物産協会

(2) 広域連携の推進

観光誘客のさらなる促進やインバウンドの取り込みにおいては、本市単独の取り組みだけでは限界があります。近隣自治体との広域的な連携や協力関係を確立し、観光客の行動範囲に対応した取り組みの充実を図ります。

基本事業	概要	実施主体
①自治体間連携の強化 (※重点戦略3)	本市を含む福島県の県南地域の自治体で構成される「ふくしま県南観光推進協議会」や、栃木県那須町や会津地域等で構成される「那須白河会津観光推進協議会」に加え、サイクルツーリズムを軸とした「那須・白河・西郷サイクルツーリズム推進協議会」など近隣自治体との広域連携による観光ルートの形成や、誘客の促進など、交通アクセスの向上にともなう旅行者の行動範囲の拡大に対応した広域連携による観光振興の充実を図ります。 また、栃木県大田原市とは文化交流協定を締結するなど、市町村や県の枠にとらわれることなく、生活圈や経済圏をともにする自治体間での連携強化を図ります。	・行政 ・観光物産協会 ・商工関係者 ・事業者
②滞在型観光の推進	広域連携の特性を活かしたストーリー性のある事業を実施するとともに、本市の宿泊や体験などの魅力の有機的な結びつけにより、域内の回遊性向上と滞在型観光の推進を図ります。	・行政 ・観光物産協会 ・商工関係者 ・事業者

【参考】白河市の広域連携の状況

(1) ふくしま県南観光推進協議会

- 県南 9 市町村（白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村）で構成されています。
- 観光誘客宣伝イベントの開催、観光物産の商品販売、観光素材の磨き上げとおもてなしの向上、観光コンテンツ、周遊ルートの開発等に取り組んでいます。



【過去の主な取組】

- ①しらかわ秋冬観光キャンペーン事業
- ②ラッピングバスの運行
- ③バスツアーの実施
- ④イベントの実施

(2) 那須白河会津観光推進協議会

- 栃木県と福島県の県境に隣接する那須町・白河市・西郷村・下郷町・天栄村・会津美里町の 6 市町村と観光協会、商工会等にて構成。Facebook ページ等における情報発信やスタンプラリーを実施しています。



(3) 那須・白河・西郷サイクルツーリズム推進協議会

- 白河市、栃木県那須町、福島県西郷村と連携して、「サイクルツーリズム推進事業」に取り組んでいる。専用ホームページでは、サイクルピット・休憩所・サイクリング推奨コース・観光グルメ情報などを紹介しています。



(3) インバウンドの推進

東京オリンピック・パラリンピックの開催により、今後ますます増加が期待できる訪日外国人の誘客を推進するため、外国人の関心の高い「食」や「自然」、「体験」などの観光資源を磨き上げるとともに、効果的な誘客宣伝と受入体制の向上を図ります。

基本事業	概要	実施主体
①受入体制の整備	研修会等を通じた受入機運の醸成や接客能力の向上を図るとともに、施設等の無料 Wi-Fi 環境の充実や免税店への登録促進、観光施設等の案内板や誘導表示の外国語併記等を推進し、外国人観光客の受入体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会 ・事業者
②情報の発信	観光情報提供の場である案内所において、外国人観光客への案内体制の向上・充実を図ります。また、外国人が容易に散策できるよう、観光パンフレットやホームページなどの多言語化に努めて、見やすさ利用しやすさを重視した観光情報の提供を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会
③プロモーション活動の充実	国や県、近隣自治体をはじめ、観光関係団体と連携した誘客宣伝活動を実施するとともに、国内外の商談会等を通じて、海外の旅行会社に対して、多言語の DVD やパンフレットなどによる PR 活動やファムトリップの実施により、効果的なプロモーション活動を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・観光物産協会



【インバウンドモニターツアーの様子】

(4) (仮称) 白河市版観光 DMO の設立

効果的な観光振興のためには、行政的な取り組みだけでは限界があります。観光まちづくりに関する専門的な人材を有し、観光振興とまちづくりを中・長期的視点から実践的にマネジメントする組織として、(仮称) 白河市版観光 DMO の設立を推進します。

基本事業	概要	実施主体
①組織体の設立 (※重点戦略3)	(仮称) 白河市版観光 DMO の設立に向け、DMO の組織形態や関係機関における役割、担い手となる組織・団体の構成等について検討を進めます。	・行政 ・市民 ・観光物産協会 ・商工関係者